

令和6年度ICT機器活用アンケート調査の結果について（報告）

日頃から、教育ICT化推進事業に御理解・御協力いただきありがとうございます。
昨年10月から11月にかけて実施した「令和6年度ICT機器活用アンケート調査」の結果がまとまりましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 調査対象者

- (1) 区立小中学校に勤務する教育職員（校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、主幹養護教諭、主任養護教諭、養護教諭、主任栄養教諭、栄養教諭）
- (2) 区立小学校に在籍する5・6年生の児童
- (3) 区立中学校に在籍する7・8年生の生徒

2 調査期間

令和6年10月21日（月）から令和6年11月28日（木）まで

3 調査方式

インターネットを利用したWEBサイト入力による回答方式

4 調査項目数

- (1) 小・中学校管理職 47項目（必須回答26項目、選択回答21項目）
- (2) 小・中学校教員 71項目（必須回答41項目、選択回答30項目）
- (3) 小学校5・6年生児童 16項目（必須回答16項目）
- (4) 中学校7・8年生生徒 16項目（必須回答16項目）

5 有効回答数

- (1) 小・中学校管理職 小学校105名、中学校44名
- (2) 小・中学校教員 小学校1,090名、中学校477名
- (3) 小学校5・6年生児童 6,918名
- (4) 中学校7・8年生生徒 5,091名

6 調査結果

別紙「令和6年度ICT機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）」のとおり。

7 担当

教育支援センター教育ICT推進係 一條・沖田
メールアドレス ky-ict@city.itabashi.tokyo.jp 電話 3579-2196

令和6年度 板橋区立小中学校 ICT機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）

【調査期間】 令和6年10月21日（月）から令和6年11月28日（木）まで

【調査対象】

- ① 管 理 職 区立小中学校に勤務する校長・副校長（149名）
- ② 教 員 区立小中学校に勤務する教育職員（1,688名）
- ③ 児 童 生 徒 区立小学校に在籍する5年生及び6年生児童（7,856名）
区立中学校に在籍する7年生及び8年生生徒（6,094名）

※調査対象には、休職中や長期欠席中の者も含まれる。

【有効回答者数（率）】

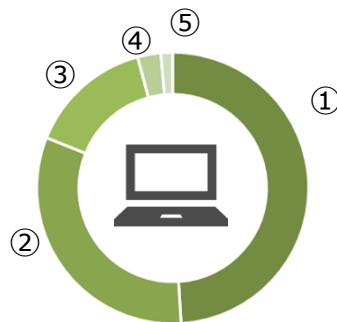
学校	小学校				中学校			
調査年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
校長・副校長	105名 (100%)	105名 (100%)	83名 (80%)	101名 (97%)	44名 (100%)	42名 (95%)	34名 (77%)	37名 (84%)
教育職員	1,090名 (93%)	929名 (79%)	805名 (67%)	808名 (63%)	477名 (92%)	384名 (73%)	314名 (56%)	319名 (53%)
児童生徒	6,918名 (88%)	6,337名 (82%)	5,601名 (74%)	5,912名 (79%)	5,091名 (84%)	4,668名 (77%)	4,502名 (73%)	4,633名 (75%)

Chromebookの活用状況（児童生徒）

約8割の児童生徒がChromebookを1週間に3回以上使用しており、昨年度に引き続き高い活用状況であった。

また、昨年度と比較すると、「ほぼ毎日使用している」との回答が児童は約6%、生徒は約2%、それぞれ増加しており、活用頻度が向上していることが伺える。

- あなたは学校の授業で、Chromebookをどのくらい使っていますか。（調査項目：児童No3、生徒No3）

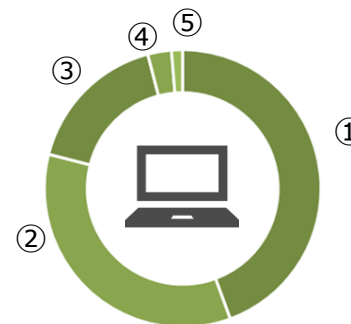


児童

81%

1週間に3回以上
Chromebookを使用

<経年比較>
令和5年度 78%



生徒

79%

1週間に3回以上
Chromebookを使用

<経年比較>
令和5年度 77%

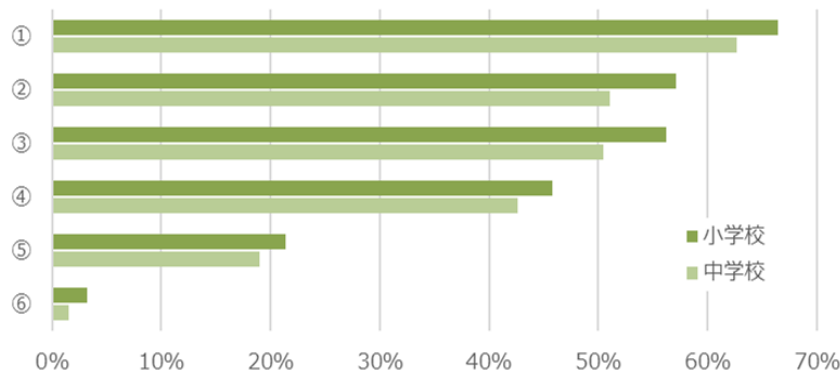
①ほぼ毎日	49%	②1週間のうち3回以上	32%
③1週間のうち1回以上	15%	④1ヶ月のうち1回以上	3%
⑤1ヶ月のうちほとんど使わない			1%

①ほぼ毎日	44%	②1週間のうち3回以上	35%
③1週間のうち1回以上	17%	④1ヶ月のうち1回以上	3%
⑤1ヶ月のうちほとんど使わない			1%

Chromebookの活用効果（児童生徒）

9割以上の児童生徒がChromebook整備により得られた効果として、「自分の考えをわかりやすくまとめる」「友達と協力して学習する」ことができるようになったと感じている。昨年と比較して「必要な資料をインターネットで見付ける」という回答が多く挙がった。

- Chromebookを使った授業で、あなたができるようになったことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。（調査項目：児童No10、生徒No10）



Chromebookを使った授業でできるようになったこと ※内訳については複数回答	児童	生徒
① 自分の考えをわかりやすくまとめる	1位 (66%)	1位 (63%)
② 友達と協力して学習する	2位 (57%)	2位 (51%)
③ 必要な資料をインターネットで見付ける	3位 (56%)	3位 (50%)
④ 自分の意見を工夫して伝える	46%	43%
⑤ 自分の理解度に合わせて学習する	21%	19%
⑥ その他	3%	1.6%

「その他」（自由記載）より抜粋

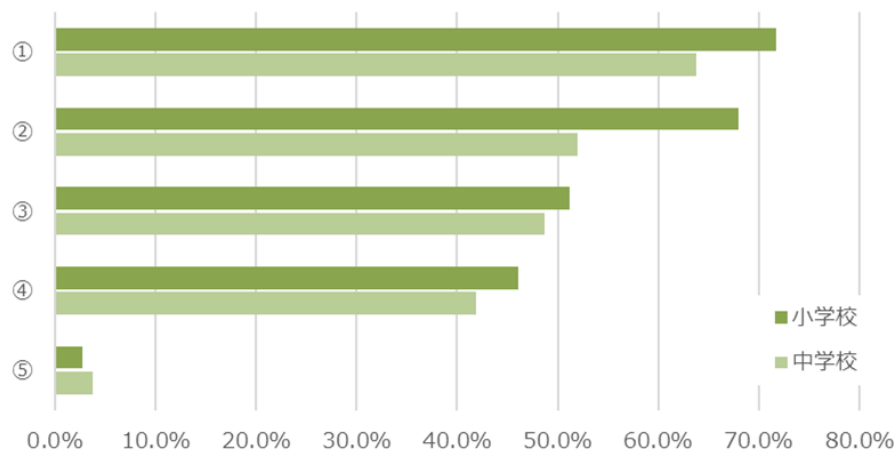
- ・ドキュメントなどをメモにを使って素早く情報を整理できるようになった。
- ・見つけた資料をもとに自分の意見とその根拠を発表できるようになった。
- ・修正がしやすく、わかりやすく意見を述べられた。
- ・発表やスピーチをわかりやすく簡単にできるようになった。
- ・うまく機能を使って、スライドなどでの発表の際にできるだけわかりやすくするにはどうすればよいか自然と考えられるようになった。

Chromebookの活用効果（教員）

Chromebook整備により、「複数の生徒の考えを共有できる」といった協働学習面や、「一人ひとりに合わせた学びを展開できる」「自分で学習を調整することができる」などの個別最適化された学びに効果が得られたと考える教員が多かった。



- Chromebookが児童・生徒に1人1台整備されたことにより、どのような効果が得られたと思いますか。
あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No4、中学校教員No4）



Chromebook1人1台整備による効果 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① 複数の児童生徒の考えを共有できる	1位 (71.7%)	1位 (63.7%)
② 児童生徒一人ひとりに合わせた学びを展開できる	2位 (68.0%)	2位 (52.0%)
③ 児童生徒が自分で学習を調整することができる	3位 (51.2%)	3位 (48.6%)
④ 共有した考えをもとに、学びをさらに深めることができる	46.1%	41.9%
⑤ その他	2.8%	3.8%

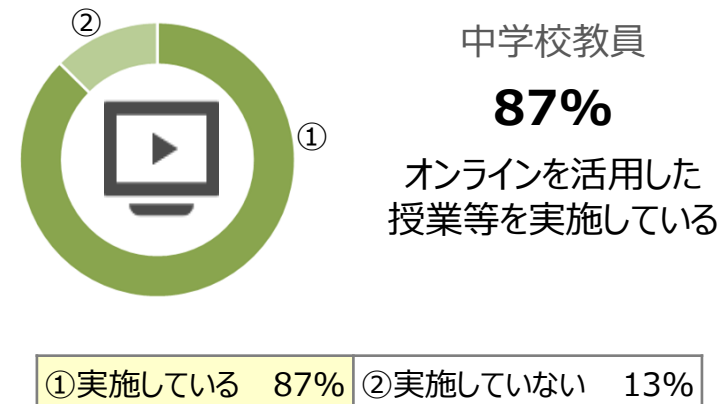
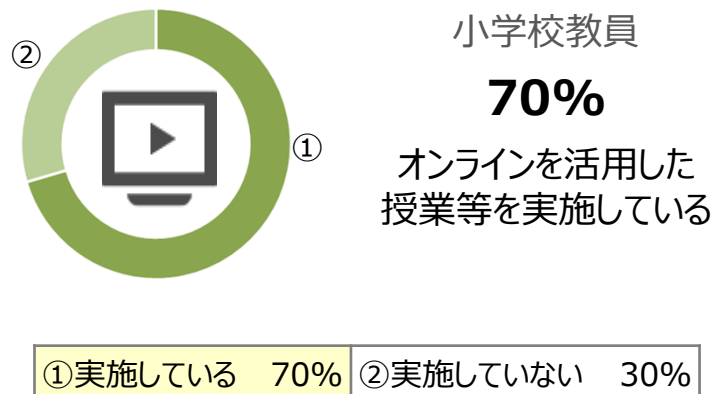
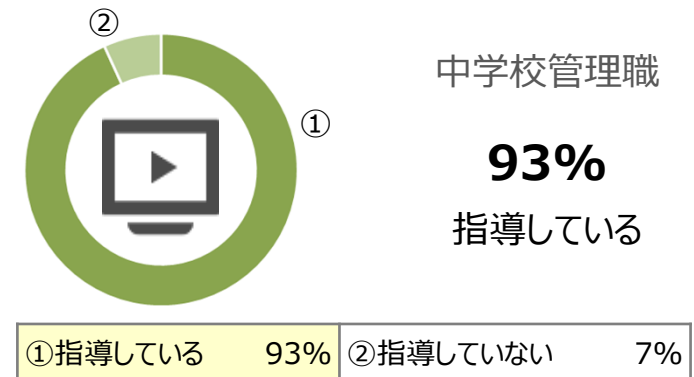
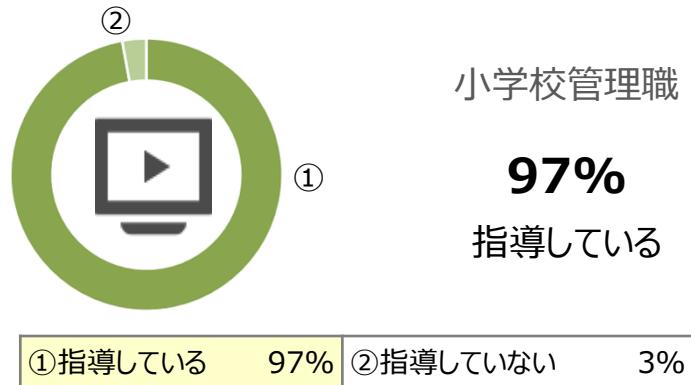
「その他」（自由記載）より抜粋

- ・学びを整理する、積み重ねることができる。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを進めることができる。
- ・手先が不器用な児童も、自分の発想や構想を視覚的なイメージとして表すことが可能。
- ・発表が苦手な児童も共有することで、自分の考えを発表する機会が増えた。
- ・翻訳機能を利用することで、母語で思考して考えを伝えることができる。

オンライン授業等の実施（管理職・教員）

欠席や、様々な事情により登校できない児童生徒に対するオンライン活用授業等を実施するよう指導している管理職は、小・中学校ともに**約9割以上**にのぼる。教職員は**小学校で約7割、中学校で約9割**がオンラインを活用した授業を実施していると回答した。

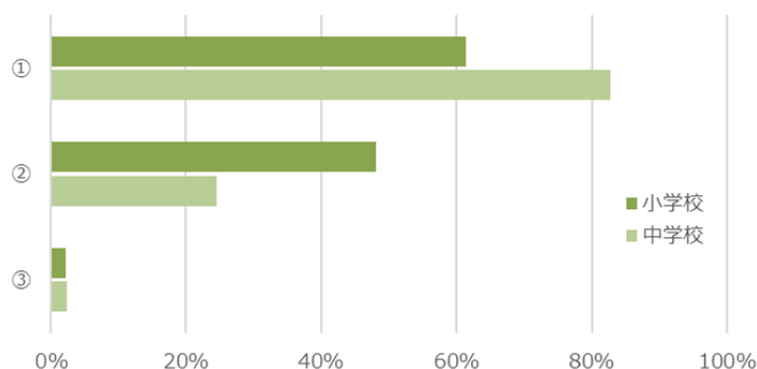
- 現在、すべての学級でオンラインを活用した授業等（※）を実施できるよう機器を配備していますが、貴校では、欠席した児童生徒や、様々な事情により登校できない児童生徒に対して、オンラインを活用した授業等を実施するよう教員に指導していますか。（※）オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）、授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）、オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）（調査項目：小学校管理職No9、中学校教員管理職No9、小学校教員No25、中学校教員No25）



オンライン授業等の実施方法（教員）

教職員は欠席した児童生徒や、様々な事情により登校できない児童生徒に対して、**授業配信を行う**ことが多いとの回答であった。オンデマンド授業等配信では、授業の事前学習に活用している実例が多かった。

- 「常に実施している」「状況に応じて実施している」と回答した方にお聞きます。どのような方法で実施していますか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No25-B、中学校教員No25-B）
- 前項で回答した授業方法は、具体的にどのような場面で実施していますか。（調査項目：小学校教員No25-C、中学校教員No25-C）



オンライン授業の実施方法※内訳については複数回答	小学校	中学校
① 授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）	1 位 (61.3%)	1 位 (82.7%)
② オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）	2 位 (48.2%)	2 位 (24.5%)
③ オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）	3 位 (2.2%)	3 位 (2.4%)

【①授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）の例】

- ・欠席した児童へ向けて、教室の板書を映し、教室にいる児童と同等な授業を提供できるように配慮している。
- ・別室登校している児童生徒に対して授業のリアルタイム配信を行っている。

【②オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）の例】

- ・出席停止等で欠席しているが、体調に問題がなく、申し出があった場合にオンライン授業を行っている。
- ・外国籍の児童生徒が一時的に帰国した際に、オンライン配信による授業をする。

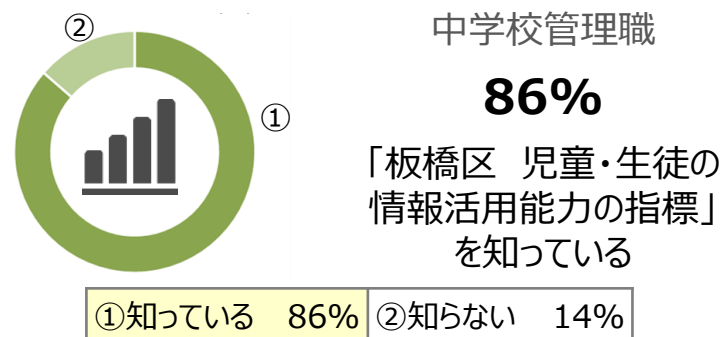
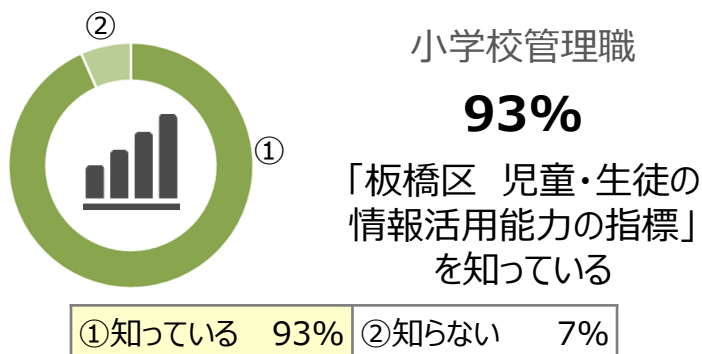
【③オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）の例】

- ・次回の授業の予習ができるよう、オンデマンド配信を行っている。

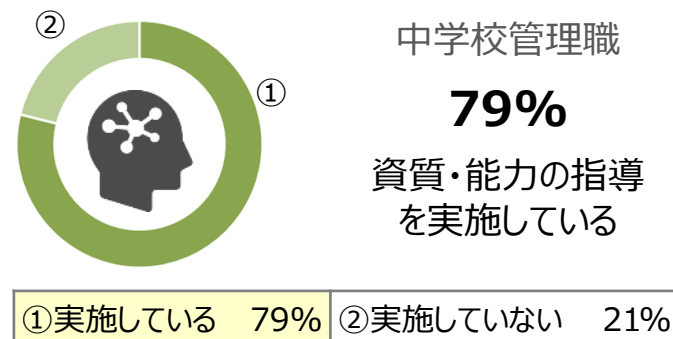
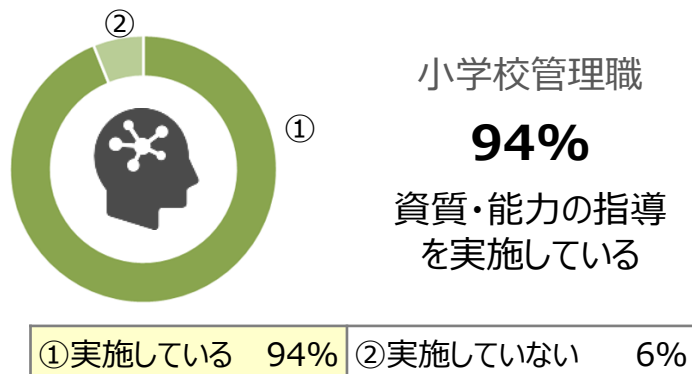
板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標（管理職）

「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」を知っている管理職は、小学校で9割以上、中学校で8割以上であった。そのうち9割以上の小学校管理職及び約8割の中学校管理職が、指標にある資質・能力を身に付けさせる指導を実施している。

- あなたは教員用GIGA活用ポータルサイトに掲載されている「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」を知っていますか。（調査項目：小学校管理職No7、中学校管理職No7）



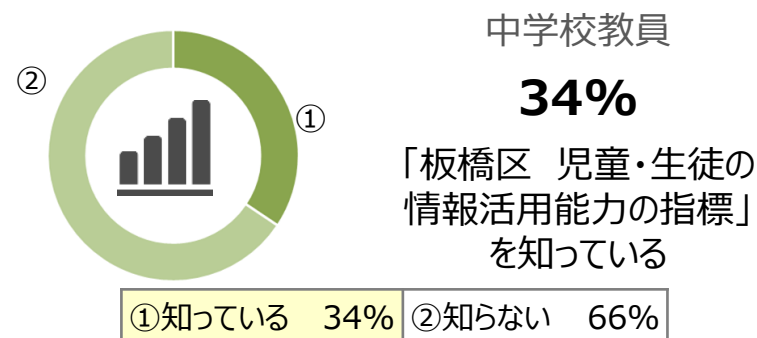
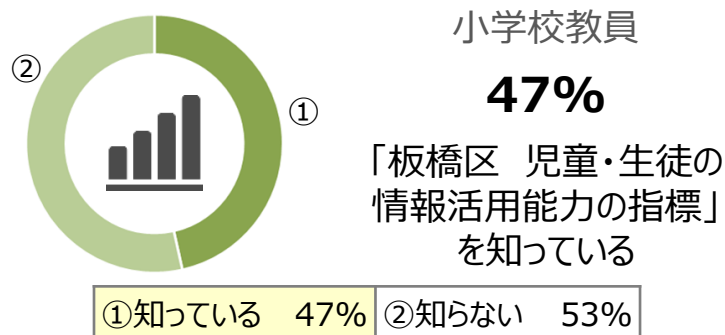
- 「知っている」と回答した方にお聞きます。貴校では、児童が中学校/生徒が高等学校に進学することを見据え、指標「【高学年】クロームブックを活用する」/「【中学生】クロームブックを発展的に活用する」にある資質・能力を身に付けさせていますか。（調査項目：小学校管理職No7-A、中学校管理職No7-A）



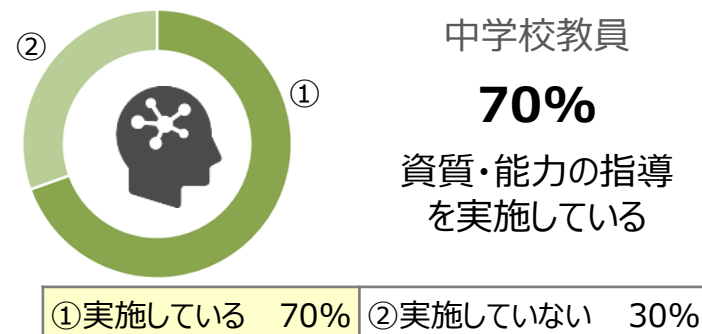
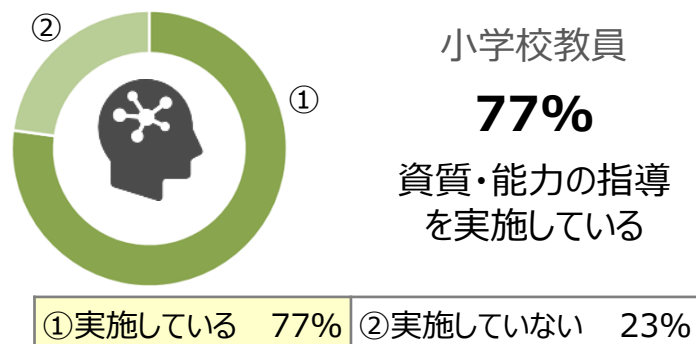
板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標（教員）

「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」を知っている教員は、小学校で約5割、中学校で3割以上となっている。進学を見据えて、約8割の小学校教員が「クロームブックを活用する」資質・能力、約7割の中学校教員が「クロームブックを発展的に活用する」資質・能力の指導に取り組んでいる。

- あなたは教員用GIGA活用ポータルサイトに掲載されている「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」を知っていますか。（調査項目：小学校教員No7、中学校教員No7）



- 「知っている」と回答した方にお聞きます。貴校では、児童が中学校/生徒が高等学校に進学することを見据え、指標「【高学年】クロームブックを活用する」/「【中学生】クロームブックを発展的に活用する」にある資質・能力を身に付けさせていますか。（調査項目：小学校教員No7-A、中学校教員No7-A）

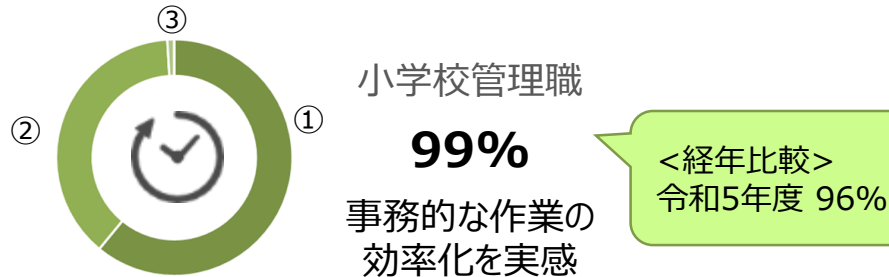


校務支援システムの活用による事務的な作業の効率化（管理職）

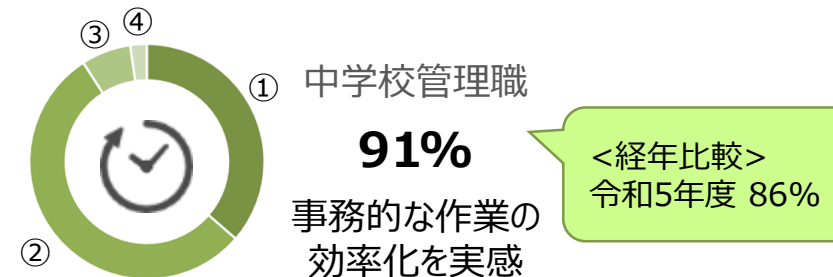
校務支援システムの活用により、**事務的な作業が効率化された**と感じている管理職は、**小学校で9割以上、中学校で8割以上**となっている。効率化により捻出された時間は、**時間外勤務の削減や教職員の指導、学校や教育活動についての情報発信の充実**などに充てられることが多かった。

- 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。

（調査項目：小学校管理職No22、中学校管理職No22）

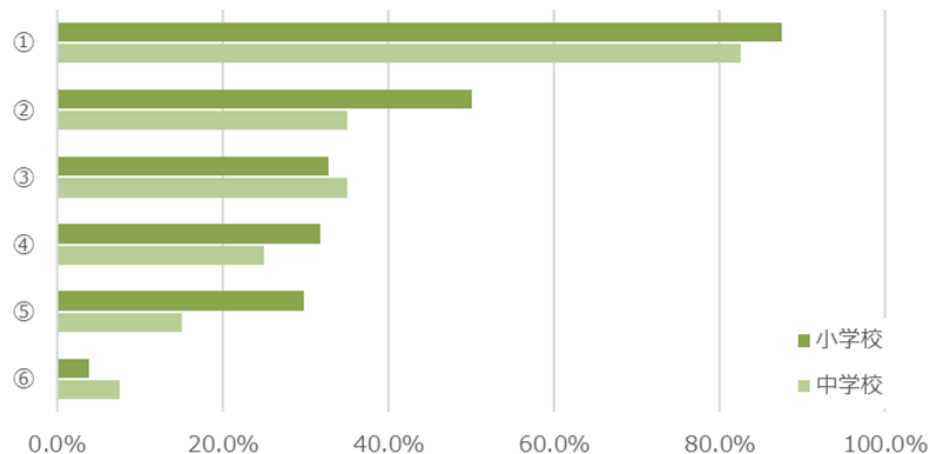


① 思う	61%	② やや思う	38%
③ あまり思わない	1%	④ 思わない	0%



① 思う	36%	② やや思う	55%
③ あまり思わない	7%	④ 思わない	2%

- 「思う」「やや思う」と答えた方にお聞きます。効率化により捻出された時間を、何に充てましたか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校管理職No22-B、中学校管理職No22-B）

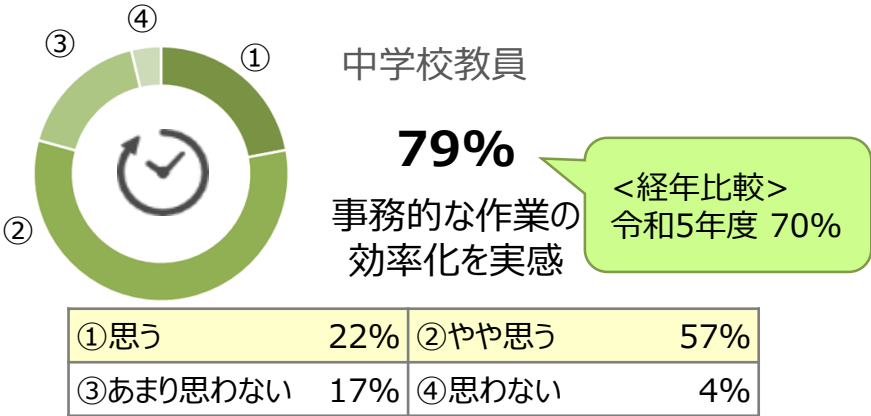
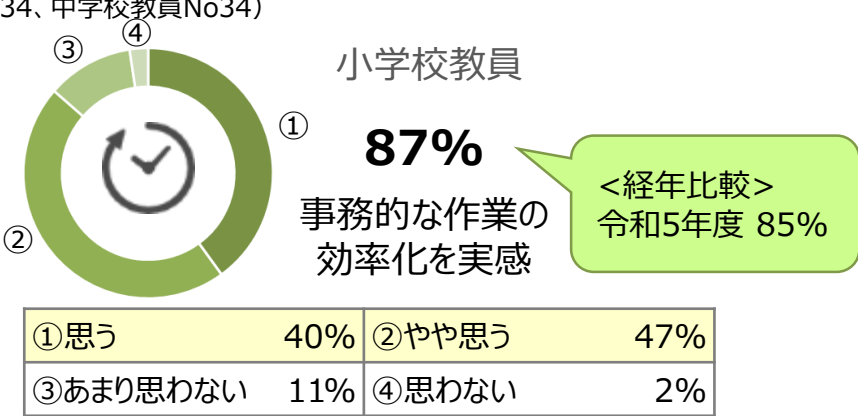


効率化により捻出された時間の活用 ※内訳については複数回答	小学校 管理者	中学校 管理者
① 時間外勤務を減らすこと	1位 (87.5%)	1位 (82.5%)
② 教職員の指導	2位 (50.0%)	2位 (35.0%)
③ 保護者（地域）への学校や教育活動についての情報発信を充実させること	32.7%	2位 (35.0%)
④ 保護者（地域）への子どもについての情報発信を充実させること	31.7%	25.0%
⑤ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く時間を確保すること	29.8%	15.0%
⑥ その他	3.8%	7.5%

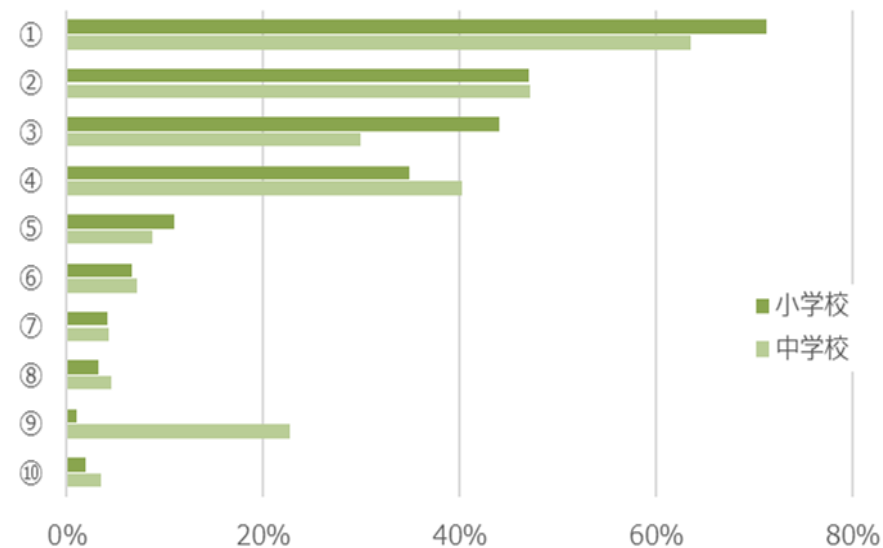
校務支援システムの活用による事務的な作業の効率化（教員）

校務支援システムの活用により、事務的な作業時間が効率化されたと感じている教員は、**小学校で約9割、中学校で約8割**であり、その分を授業準備や時間外勤務の削減、子どもとふれ合う時間に充てている。

● 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。（調査項目：小学校教員No34、中学校教員No34）



● 「思う」「やや思う」と答えた方にお聞きます。効率化により捻出された時間を、何に充てましたか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No34-B、中学校教員No34-B）



効率化により捻出された時間の活用 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① 授業準備（教材研究）にかかる時間を増やすこと	1位 (71.1%)	1位 (63.5%)
② 時間外勤務を減らすこと	2位 (47.0%)	2位 (47.1%)
③ 子どもの作品やノートを見る時間を増やすこと	3位 (44.0%)	29.9%
④ 子どもとふれ合う時間を増やすこと	34.8%	3位 (40.2%)
⑤ 放課後の補習等にかかる時間を増やすこと	10.9%	8.7%
⑥ 保護者（地域）への子どもについての情報発信を充実させること	6.6%	7.1%
⑦ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く時間を確保すること	4.1%	4.2%
⑧ 保護者（地域）への学校や教育活動についての情報発信を充実させること	3.2%	4.5%
⑨ 部活動の指導にあたる時間を増やすこと	1.0%	22.8%
⑩ その他	1.9%	3.4%

Googleの機能の活用による校務DX（管理職）

Googleの機能（フォームやMeetなど）の活用により、校務DXを推進していると考えている管理職は、**小学校で9割以上、中学校で8割以上**となっている。具体的な取り組み内容として、小学校・中学校共に「**職員会議のペーパーレス化**」が多く挙げられた。

- 貴校ではGoogleの機能（フォームやMeetなど）を活用した校務DXを積極的に推進していますか。

（調査項目：小学校管理職No27、中学校管理職No27）

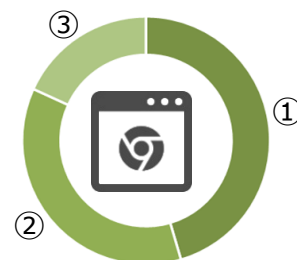


小学校管理職

91%

校務DXを推進
している

①積極的に推進している	61%	②比較的推進している	38%
③あまり推進していない	1%	④推進していない	0%



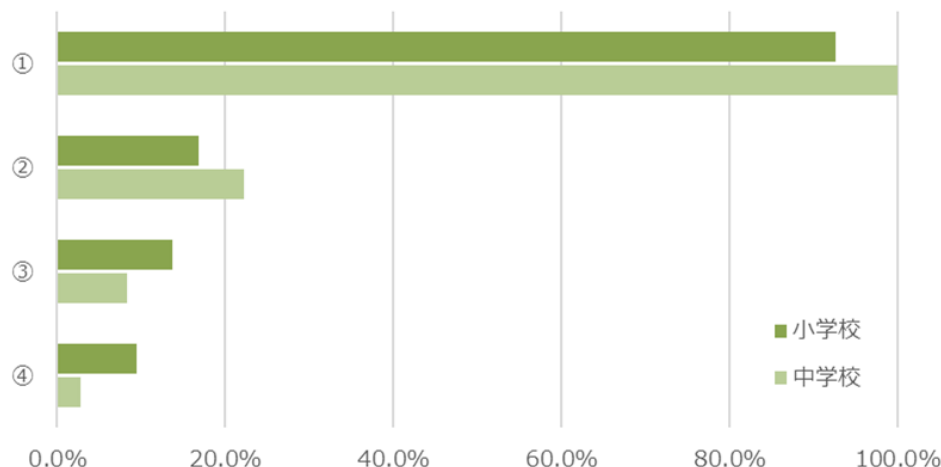
中学校管理職

82%

校務DXを推進
している

①積極的に推進している	46%	②比較的推進している	36%
③あまり推進していない	18%	④推進していない	0%

- 「積極的に推進している」「比較的推進している」と答えた方にお聞きます。具体的な校務DXの取り組み内容のうち、あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校管理職No27-A、中学校管理職No27-A）



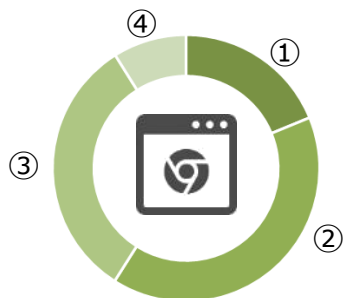
校務DXの取り組み内容 ※内訳については複数回答	小学校 管理者	中学校 管理者
① 職員会議のペーパーレス化	1位 (92.6%)	1位 (100.0%)
② 職員会議のオンライン開催	16.8%	22.2%
③ チャットツールの積極的な活用	9.5%	2.8%
④ その他（アンケートの実施等）	13.7%	8.3%

Googleの機能の活用による校務DX（教員）

Googleの機能（フォームやMeetなど）の活用により、校務DXを推進していると考えている教員は、小学校・中学校共に約6割となっている。

- 貴校ではGoogleの機能（フォームやMeetなど）を活用した校務DXを積極的に推進していますか。

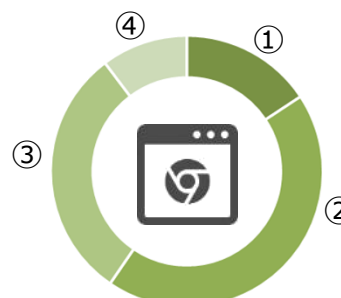
（調査項目：小学校教員No39、中学校教員No39）



小学校教員

59%

校務DXを推進
している



中学校教員

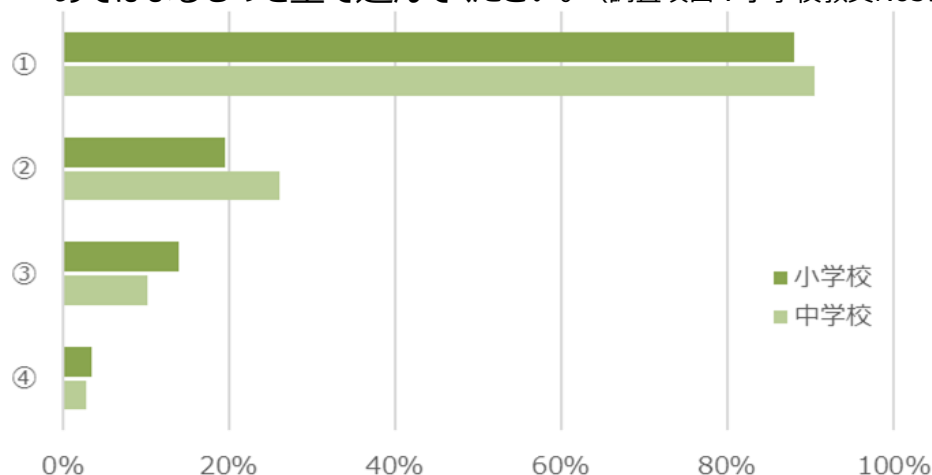
60%

校務DXを推進
している

①積極的に推進している	19%	②比較的推進している	40%
③あまり推進していない	32%	④推進していない	9%

①積極的に推進している	16%	②比較的推進している	44%
③あまり推進していない	30%	④推進していない	10%

- 積極的に推進している」または「比較的推進している」と答えた方にお聞きます。具体的な校務DXの取り組み内容のうち、あてはまるものを全て選んでください。（調査項目：小学校教員No39-A、中学校教員No39-A）



校務DXの取り組み内容 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① 職員会議のペーパーレス化	1位 (88.0%)	1位 (90.5%)
② 職員会議のオンライン開催	19.6%	26.1%
③ チャットツールの積極的な活用	14.0%	10.2%
④ その他（アンケートの実施等）	3.4%	2.8%